

講義名	日本語A（読む）			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

毎回、日本文学・評論・自然科学と多分野に関する記事を紹介し、読解を通して自ら考え、発信する力の育成、日本語能力の向上を目指します。ワークシートを用いたディスカッションも行います。

到達目標

読むことで、日本語の文型や語彙を習得し、文の構造を学びます。また、読みながらディスカッションや課題を通し、口頭表現力も鍛えます。そして、すべての授業を通し、日本語への問題意識や知的好奇心を高めます。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業中に指示します。オリエンテーションで詳しく説明します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストの場合は、採点した後返却し、その解説を行う。レポートの場合は、学生からの要望により、講師による説明に応じます。

評価の基準

授業への積極性・参加度（20%）
 授業課題の提出（20%）
 中間課題（30%）
 期末課題（30%）
 授業内でワークシート、宿題を返しますので欠席すると受け取れません。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。遅刻3回で1回欠席とする。1.5分以上の遅刻は、欠席とみなします。真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

上級日本語教材 日本がわかる、日本語がわかる ベストセラーの書評エッセイ	田中祐輔・川端祐一郎・肖輝・張玥	凡人社	2750	9784893589552
.中上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む。	西原純子・吉田道子・桑原卓男	アルク	2840	9784757422315

その他

授業中に、プリント資料を配布します。

授業計画

○毎回、授業内でグループワーク・ディスカッションを行います。
 ○毎回、授業内で配布するワークシートをしてください。予習：要点をまとめ、復習：語彙・文法等

- 第1回：オリエンテーション/短編
- 第2回：短編
- 第3回：短編
- 第4回：中文
- 第5回：中文
- 第6回：中文
- 第7回：中間課題
- 第8回：長文
- 第9回：長文
- 第10回：長文
- 第11回：エッセイ
- 第12回：エッセイ
- 第13回：日本文学
- 第14回：日本文学
- 第15回：期末課題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

当週に学習した項目について、理解に時間を要した部分を中心に復習し、次週の授業に向けて準備をすること。（120分程度）
 学習内容の定着を図るため、また小テスト対策として、学習語彙や機能語を使って文作などをして予習・復習を行うこと。（120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目を受講することで、仲間と協同して、物事を成し遂げることができるようになり、人と円滑なコミュニケーションをとることができるようになります。日本文化を学ぶことで創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材となり、必要な日本語能力を身につけ、活用することができるようになります。知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成につながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

日本文化をテーマとした問いに対し、話し合い応える機会を設けます。そして、自ら考える力や発信する力を身につけます。

実務経験の有無及び活用

備考